

日本 LCA 学会研究発表会 要旨作成要項

Instructions for Preparing the Proceeding on the ILCAJ Annual Meeting

○環境太郎*¹⁾、評価花子²⁾

Taro Kankyo, Hanako Hyoka

1) 持続可能性大学, 2) LCA 研究所

* environmentaro@snnt.or.jp

1. 投稿について

すべての発表について要旨原稿の投稿が必要です。発表要旨原稿は、研究発表会ウェブサイトから雛形(template.doc)をダウンロードして作成してください。参加者には要旨原稿は電子媒体で配布されます。要旨原稿のうち本文は必ず2ページで完結するように作成して下さい。3 ページ目以降には参考情報(Supporting Information: SI)を含めることができます。なお、ダブルエントリーの場合は、一つの要旨原稿の投稿となります。

要旨原稿を申込者が一つの PDF ファイルに変換し、演題登録システムからアップロードしてください。また、PDF ファイル作成時にはフォントを埋め込み、セキュリティを設定しないでください。PDF ファイルは最大3 MB までです。

PDF ファイルの作成方法によっては、要旨中の図表が不明瞭になることがあります。アップロードする前に作成した PDF ファイルを画面上に表示、できれば印刷し、図表が鮮明であるかどうか確認してください。

講演要旨投稿期間は、下記の日本 LCA 学会研究発表会ウェブサイトよりご確認ください。

<http://ilcaj.snnt.or.jp/meeting/>

2. 執筆要領

2.1 ページ設定

ページ設定は以下のように指定してください。

用紙 : 要旨本文 A4 縦2枚 / 参考情報(SI) A4 縦
余白 : 上 20 mm / 下 20 mm / 左 20 mm / 右 20 mm
文字数と行数 : 段数 2 段 / 文字数 24 文字 / 行数 48 行
余白は絶対に変更しないでください。ページ番号は通し番号を入れるので挿入しないでください。なお、講演番号を挿入するので、ヘッター、フッターには何も記入しないでください。ページ番号は要旨本文となる最初の2ページのみ付与し、3ページ以降の SI には記載しません。

2.2 フォント

以下に各フォントについて“日本語 / 英数字”の形で示します。

標準のフォント :	MS 明朝 10 pt	/ Times 10 pt
日本語タイトル :	MS ゴシック 14 pt	/ Arial 14 pt
英語タイトル :		/ Arial 12 pt
日本語著者名 :	MS 明朝 10 pt	/ Times 10 pt
英語著者名 :		/ Times 10 pt
見出し :	MS ゴシック 10 pt	/ Arial 10 pt
図表のキャプション :		
	MS ゴシック 10pt	/ Arial 10 pt

2.3 著者名、所属および代表者連絡先

登壇者の前には○を付け、共著者全員の名前を表記してください。また日本語著者名の右肩に¹⁾のように通し番号を付けて所属(所属名は可能な限り簡潔に記述願います)を表記してください。その下に、登壇者の連絡先となる E-mail アドレスを表記してください。登壇者名の後に*を付けてください。

2.4 章立て

本文中の区分は、大見出し、中見出し、小見出しなどを明瞭にしてください。大見出しの前は1行空けて書き始めます。この雛形のファイルでは、見出し1、見出し2、見出し3の書式を設定してください。

〔例〕1. …、1.1 …、1.2 …、1.2.1 …、1.2.2 …など。
その後の細分については、(1) …、(2) …のようにしますが、過度の細分化は避けて下さい。

2.5 図表の書き方

図および表は日本語、英文のいずれかで作成し、それぞれ通し番号を付け、要旨内に貼り込んでください。図と写真は区別することなく図または Figure として統一し、表は表または Table とします。また、キャプションは、図/Figure の場合にはその下に、表/Table の場合にはその上に記載してください。

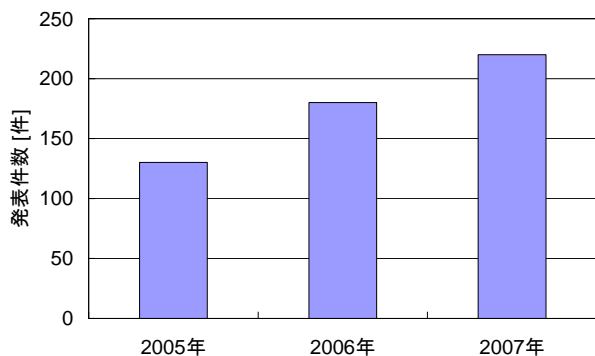


図1 LCA 学会研究発表会の発表件数の推移

表1 キャプション

	排出量 [kg/kg]
CO ₂	1.5
NO _x	0.1
SO _x	0.08

2.6 引用文献

文献は本文中に引用したもののみについて記してください。引用文献の本文中での引用は引用箇所の肩に^{1,2)}や³⁻⁵⁾のように通し番号を付けて示し、本文の末尾にまとめて引用番号順に記載します。

雑誌については、スペースの関係より日本 LCA 学会誌執筆要領と異なり、和文の場合は日本語とし、欧文の場合は英文としてください。引用ページは最初と終わりの両方を記入してください。

① 雑誌

著者名（全員）：雑誌名（略記にて可），巻（号），（発行年），pp.頁-頁

〔例1〕 Matsuno Y., Betz M.: Int. J. LCA, 5 (5), (2000), pp.295-305

〔例2〕 松野泰也，稲葉敦，Micheal Betz, Manfred Schuckert: 日本エネルギー学会誌，5 (5), (2000), pp.295-305

〔例3〕 松野泰也ほか: 日本エネルギー学会誌，5 (5), (2000), pp.295-305

② 書籍

著者または編者名，“書名”，出版元の名前，出版元所在地，（発行年），pp.頁-頁

〔例〕 日本鉄鋼協会編，“第3版鉄鋼便覧Ⅲ”，丸善，東京，(1980)，p.800

③ 学会講演要旨

著者名：“学会名”，開催地，（開催年），pp.頁-頁

〔例〕 Matsuhashi, K., Moriguchi, Y.: Proc. 3rd. Int. Conf. EcoBalance, Tsukuba, (1998), pp. 303-306

④ 報告書

著者名：“報告書名”，（発行年），pp.頁-頁

〔例〕 社団法人環境情報科学センター：“製品相互の環境負荷を比較評価するためのLCA手法調査報告書”，(2004)

⑤ Web サイト

著者名：“Web ページの題名”，Web サイトの名称，（媒体表示），入手先 <URL>，（参照日付）

〔例〕 齊藤彬夫：“DME（ジメチルエーテル）燃料普及のための提言”，日本機械学会，（オンライン），入手先 <<http://www.jsme.or.jp/teigb01.htm>>，（参照 2004-10-24）

3. 参考情報（Supporting Information）について

3 ページ目以降には参考情報を任意のページ数追加することができます。要旨本文は2ページで完結させてください。

参考情報については、2.1 ページ設定で指定した余白を守っていただければ、書式は自由です。PDF ファイルの容量制限（3 MB）を超えないように注意してください。また、SI を要旨本文と別のファイルにすることはできませんので、必ず要旨本文と SI をまとめて一つの PDF ファイルにしてください。なお、2 ページの要旨の中に SI があることを記述するようにしてください。例えば、要旨に「式(1)から式(2)への展開，変数の説明については SI を参照」、「図 S1 と図 S2 に示すように」、「計算に用いた詳細なデータは表 S1 に記す」のように記述してください。

4. 最後に

プログラム編成は、実行委員会に一任してください。プログラムは、会誌の会告や、研究発表会ウェブサイトに掲載しますので、ご確認下さい。

不明な点は、該当年度の日本 LCA 学会研究発表会実行委員会宛にメールでお問い合わせください。

引用文献

1) Matsuno Y., Betz M.: Int. J. LCA, 5 (5), (2000), pp 295-305

2) 松野泰也，稲葉敦，Micheal Betz, Manfred Schuckert: 日本エネルギー学会誌，5 (5)，(2000)，pp 295-305

Supporting Information

SI の書式は自由です。

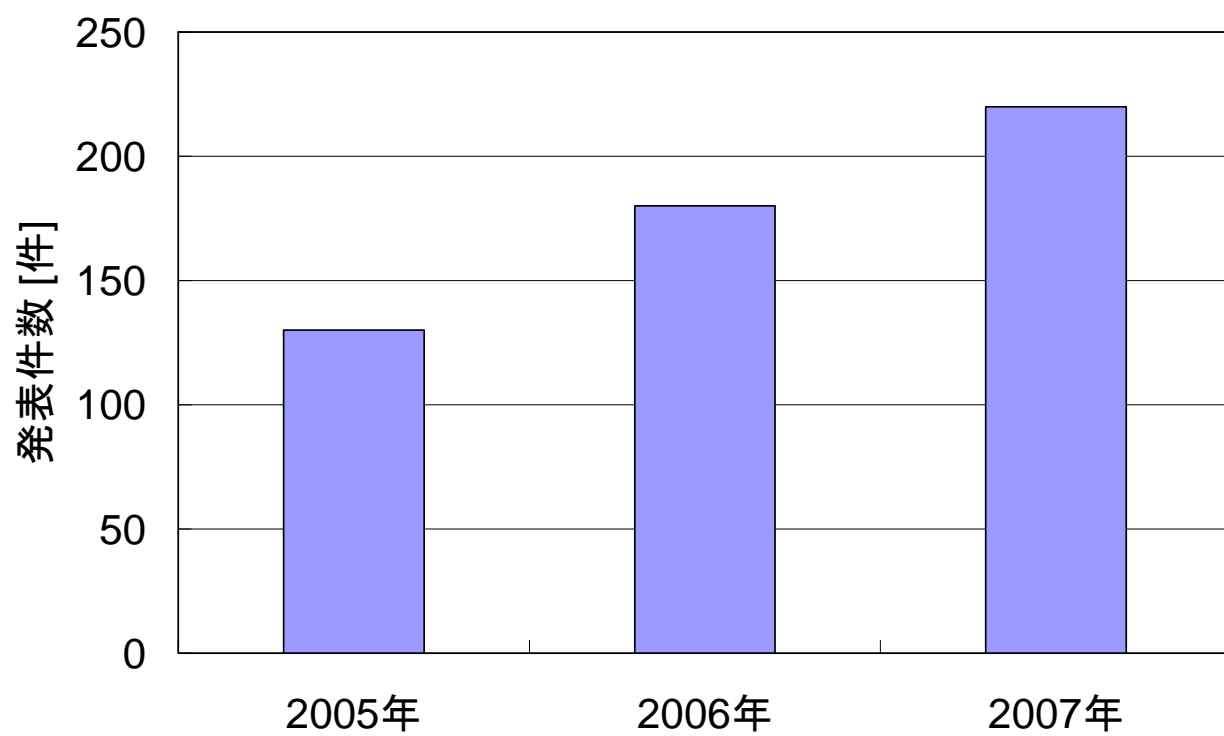


図 S1 LCA 学会研究発表会の発表件数の推移